

## 平成29・30年度 第2回高崎市公民館運営審議会 会議録

**開催日時** 平成29年9月25日（月）午後1時30分から2時40分

**開催場所** 高崎市東公民館 集会ホール

**議題** 東公民館の取り組みについて

**公開・非公開区分** 公開

**出席委員**（12人）

関崇裕委員 ・ 岩井真委員 ・ 樋口克己委員 ・ 飯野茂委員  
山崎紫生委員 ・ 森周子委員 ・ 関正委員 ・ 山口堅二委員  
中司恵理委員 ・ 松田裕子委員 ・ 高山和一郎委員 ・ 堤香代子委員

**欠席委員**（8人）

相模透委員 ・ 小屋美香委員 ・ 綾部園子委員 ・ 松本賢一委員  
小見勝栄委員 ・ 吉村晴子委員 ・ 丸茂ひろみ委員 ・ 新利恵子委員

**成立** 高崎市公民館運営審議会規則 第4条第2項による

**事務局出席者**

松田匡子中央公民館長・樋山敏男東公民館長・黒崎喜由教育担当係長  
櫻井衛次長・笠原伸良次長・大野雅美主査・高橋一勝主任主事  
菅野典子行政嘱託

**傍聴定員** 5人

**傍聴者数** 3人

**所管部課名** 教育部高崎市中央公民館

## 平成29・30年度 第2回高崎市公民館運営審議会 議事録

### 議事

#### 東公民館の取り組みについて

会長： 東公民館の取り組みについて、東公民館長さんからご説明いただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

東公民館長： 皆さん、こんにちは。今日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

まず、お手元の資料「東公民館の取り組みについて」でご説明し、その後、館内をご案内させていただきます。

それでは、東公民館の取り組みについて説明いたします。1ページ、(1) 東地区の位置をご覧ください。この地図は、高崎市を小学校区ごとに線引きしたもので、色が濃くなっている部分が東公民館のある東地区です。ここは、高崎市の中心市街地の古い伝統と文化を併せ持つ閑静な地区で、面積は5.2㎢、人口は約5,000人と狭い地域です。

次に東地区人口推移について説明します。平成24年より高層マンションが建設され、駅に近く通勤に便利ということもあり、比較的若い世代の核家族が増え、15歳未満人口が増加しています。全国的に少子高齢化が進んでおり、東地区も65歳以上人口は増加傾向にあります。それ以上に65歳未満人口が増加し、市内の他の地域と比較し、若い世代が多い地区です。(3) 東地区65歳以上・15歳未満人口割合を見ていただくと、その傾向がおわかりいただけると思います。東地区の65歳以上人口割合は、平成29年4月1日現在21.8%で、高崎市の26.8%より低く、一方、東地区の15歳未満人口割合は、平成29年4月1日現在15.7%で、高崎市の13.2%より高く、高崎市でも子どもの数が増加している数少ない地区です。子どもの数の増加により、地域のニーズも変化し、それが東公民館の事業の特色にもなっています。

2ページ、平成28年度東公民館利用状況について説明します。公民館の利用者数は18,762人、図書室の利用者数は4,531人で、そのうち読み聞かせ利用者数は合計4,122人です。小学生が多く利用しています。

3ページ、平成28年度東公民館事業実施状況に小学生対象事業が多いという東公民館の特色が出ております。

4ページ、東公民館の特色について説明します。東地区は公園等が少なく、市街地のため自動車の交通量も多く、子ども達の活動の場がない状況です。学校や学童クラブの対応も限界があるため、公民館を活動の場にしたいという地域のニ

ーズに応え、平成23年度より夏休みに小学生対象事業を1つのパッケージにして、10～15講座を実施しています。小学生の夏の思い出づくりや親睦を深めることを目的に、従来の宿題補助の講座だけではなく、活発に身体を動かす講座、皆と一緒に遊び、楽しめる講座等を実施しています。平成28年度は、夏休みの始まりから終わりまで、土、日曜及びお盆以外はほぼ毎日、全16講座を実施しました。この中のポスター教室では高女の美術部及び漫画研究部の生徒を、夏まつりには高崎経済大学の学生を講師として迎えました。年齢の近い高校生や大学生が講師なので、小学生も喜び、活気ある講座になりました。予算不足の場合は、無償でおこなえる講座を実施する等の工夫をしております。昨年度実施した高崎信用金庫での「寺子屋マネー」やNHK前橋放送局での「寺子屋キャスター」は、無償で開講した講座で、小学生は職業体験になり、非常に有意義なものでした。

5ページ、④参加者数の推移をご覧ください。平成23年度の参加者は約60人で、東小の全校生徒に占める割合は36%でしたが、児童数の増加に伴い、平成29年度は133人、全校生徒に占める割合は46%になり、平成23年度より始めた夏休み小学生対象事業は、東小児童や保護者の認知度も高まり、参加者数も増加してきています。

前述しましたが、子ども達の活動場所として地区に公園等も少なく、校区も狭いということもあり、帰宅後、公民館を訪れる小学生が非常に多いです。東公民館利用者数のグラフをご覧ください。平成23年から小学生の公民館利用が始まり、東小児童数の増加に伴い公民館の利用者数も増え、平成25年度にはピークを迎え、7,456人でした。急激な増加により、子ども達が公民館内を走り回ったり、勝手に空いている部屋で遊び始めたり、暴れ回ったり、障子を破ったり、他の利用団体にも迷惑をかけたこともありました。平成26年度から公民館も小学生達に公共施設の利用について、以前より厳しく指導した結果、平成26年度の利用者は5,989人となり、前年度より1,500人ほど減少しました。また、東小との協議の結果、平成27年度からは公民館内での携帯ゲーム機の使用を禁止しました。学校でも大々的に公民館での携帯ゲーム機の使用禁止を指導したため、公民館自体の利用禁止と勘違いした児童もおり、平成27年度の利用者は3,504人で、前年度よりさらに2,500人ほど減少しました。しかし、徐々に利用者数も回復し、平成28年度は4,122人、今年度は4,300人程度の利用を見込んでいます。

来館する小学生の大多数が2～4年生であり、公民館の利用方法等の理解不足もあり、食べ物を散らかしたまま帰ったり、読んだ本を片付けない等のトラブルも多々ありました。この6月に学校、PTA、学童クラブの代表者で会合を持ち、そこで「放課後、地域ボランティアが小学生の面倒を見たらどうか」という意見が出ました。試験的に夏休みを利用し、公民館で地域の退職教員による学習相談を実施することになりました。また、冬休み、春休みに実施し、その結果を鑑み、

来年度から放課後の学習相談の実施については、考えたいと思っております。

最後に、6ページ、今後の課題ですが、一番の問題は、夏休みの小学生対象事業参加者数や放課後に公民館を訪れる児童数が増加したことにより、現在の職員体制での対応が厳しくなってきたことです。そのためには、地域との連携を強化し、地域が一体となり、公民館事業を支えてもらうことが必要です。来年度の夏休み小学生対象事業の企画を保護者に一緒に考えてもらえるよう依頼したところ、手を挙げてくれた方がいたので、講座企画検討委員会を立ち上げ、講座を考えていく予定です。

以上のように、今後も繋ぐ役割をより意識した公民館運営を心がけていきたいと考えております。

説明は以上で終わります。

会長： ありがとうございます。それでは、施設見学の前にご説明いただいた内容について、確認等があればお受けします。

ユネスコ協会選出委員：4ページ(1)②事業概要の表中の「寺子屋ポスター」は、高崎女子高校の生徒がポスターづくりを、「寺子屋木工」は、ボランティアサークルACTが教えた。ACTは高崎経済大学の学生でしょう。

東公民館長：そうです。

会長： 「寺子屋ポスター」に高崎女子高校の美術部と漫画研究部の方が来てくださったということですか。

夏休みの事業について詳しくご説明いただきましたが、講座は、小学生を対象に授業日にも実施しているのですか。

東公民館主事：実施していません。特に高学年の小学生は習い事等で忙しい。マンションに居住している方が多く、冬休みは、里帰りされる方も多く、小学生が集まらないという状況です。そこで、夏休みと春休みを中心に事業を実施しています。

会長： 授業日は需要がないということですか。

東公民館主事：学校でもチャレンジスクール等、いろいろやっていますが、公民館でも来館する子ども達に対する事業の実施も必要かもしれませんので、検討しています。

会長： 小学校はどちらですか。

東公民館長：この公民館の北側にあります。

会長： 小学校とはどのような連携が図られていますか。例えば、夏休み中の事業のチラシを持って行くぐらいの関わりですか。いろいろ課題があり、話し合いの場も持たれて、来年度は保護者の協力を得て、講座を一緒に企画するという話がありましたが、現在の連携の状況を教えてください。

東公民館主事：私が異動してきた27年度、教頭先生との立ち話から始まり、パトロール時等に話をしています。携帯ゲーム機使用の禁止等についても連絡を取り合いました。この6月には始めて、学校、PTA会長、学童の責任者を交えた会合を持ったばかりなので、まだ、しっかりした連携は図れていません。

群馬地区選出委員：放課後、子ども達が遊んでいる部屋はどこですか。定期利用団体の方もいらっしゃると思うのですが、どのように受け入れているのでしょうか。

東公民館長：図書室で、遊んだり、本を読んだり、勉強しています。

会長： 子ども達の人数が多すぎるということはありませんか。

東公民館主事：施設利用が多い日は、図書室も一般の定期利用団体が使用することがあります。その時は「今日は、子どもは遊ばせん」と入口に貼紙をして、空いている時に利用できることを教えています。

会長： 利用上の注意を子ども達に理解してもらうには、時間がかかりますよね。

倉淵地区選出委員：夏休みの事業名の「寺子屋」はどういうところから付けたのですか。

東公民館主事：毎年度、おこなっていることは一緒ですが、子ども向けの事業なので、名前を変え、設定を変えています。親しんでもらえるように、28年度は「寺子屋」、今年度は「探検隊」で、海賊になって冒険し、島を攻略しようということで付けました。

公募委員A：「寺子屋ボウリング」について、パークレーン高崎で、67人の参加ということですが、会費はどのくらいだったのですか。

東公民館主事：事業として実施したので、パークレーン高崎には、公民館から支払いました。子どもの参加費は無料です。

公募委員A：難しい面もあると思いますが、公民館として、インフラの事業所と連携して、見学、体験するというような企画は考えていますか。例えば、東京電力、NTT、東京ガス等。

東公民館長：実施したことはありません。高崎信用金庫でのマネーの講座、以前には、アイスクリームの工場見学やJRの見学を実施しました。

公募委員A：無料ですので、機会があったらやった方がいいと思います。

東公民館長：東京ガスは近くにあるので、見学することも可能かと思しますので、今後はそのようなものも取り入れていければよいと思います。

会長： ご提案、ありがとうございます。他に、ありますか。  
それでは、これからご案内いただき、戻って、さらにお聞きしたいこと、疑問点についてお答えいただくということで、よろしいでしょうか。

東公民館長：利用案内の5ページの平面図をご覧になりながら、見学ください。

#### ～館内見学～

会長： ご質問、コメント等があれば、お願いしたいと思います。

倉渕地区選出委員：飾り付けがいろいろしてあり、アットホームな公民館だなという印象を持ちました。飾り付けは公民館の職員さんがやるのですか。

東公民館主事：私と臨時職員の2人でやっています。

倉渕地区選出委員：地域の皆さんは、評価している、いいと思っているのではありませんか。何か月かごとに変えているのですか。

東公民館主事：春夏秋冬で変えています。

東公民館長：東公民館では「アットホームな雰囲気づくり」を心がけており、春夏秋冬の季節ごとに4回模様替えをおこなっております。また、利用する部屋をわかりやすくするために、小さなブラックボードを活用し、表示しております。

公募委員A：東公民館という案内はどこかに出ていますか。何人かの通行人に聞きながら

ここに来ました。初めて来る人には、わかりにくい。いろいろな規制等もあるので、難しいかもしれませんが、できれば、何か案内があればよろしいのかなと思いました。

東公民館長：ありがとうございます。確かにどこから入るのかわからないという人もいます。もっと大きな看板のようなものがあれば、わかりやすいかもしれません。

箕郷地区選出委員：この公民館の特徴として、小学校の子ども向けの事業は、力が入っていて、素晴らしいと思います。最初の説明で、子どもが多く、65歳以上の人口が比較的少ないという話があり、学校のそばにあるから子ども向けの事業に力を入れるのはいいと思いますが、成人向けの主催事業が少ないような気がしました。マンションの居住者が多く、参加者がいないので、子ども向けの事業に重点を置いているのか。どんな意図で、実施計画を組まれているのか、教えてください。

東公民館長：需要がないということではありません。成人向けの主催事業も実施しております。例えば、成人向けのボウリング、ダンスやパソコン教室等、笑いヨガは好評で何回か、実施しております。今後、スマートフォン教室、その他にブロック共催でおこなうようなものも考えています。

東公民館主事：確かに、成人向けの事業は、他の公民館に比べて少ないのが現状です。予算関係上、成人向けの事業の無償での実施が難しいこともあり、子ども向けのものを実施すると予算が不足してしまいます。成人向けのものもやりたいのですが、限りある予算の中では、ニーズの高い小学生向けの事業をさせていただいているのが現状です。

会長： 成人の方からこういう課題があるので、こんな勉強がしたいというような要望はありませんか。

東公民館主事：あります。サークルの会員の方との雑談等で、お聞きしています。パソコンやスマートフォンを学びたい等の希望も聞いております。要望を聞き、実施しています。

群馬地区選出委員：図書ボランティアの人数や活動の状況について、教えてください。

東公民館主事：現在、図書ボランティアは5名で、全員が女性です。読み聞かせも兼ね、ほぼ毎週やっています。子どもを集めておこなうのではなく、来ている子どもに本を読んでもらっています。本の貸出については、常に職員が対応さ

せていただいておりますので、職員がいれば、いつでも貸出をおこなっています。  
今後、小学校で保護者の方がやっている読み聞かせサークルと連携を取らせてもらい、一緒に活動していこうという話も出ています。

会長： 時間の都合もございますので、公民館の活動についての説明は終わりにしたい  
と思います。それでは、報告・連絡事項を事務局の方からお願いします。

#### **報告・連絡事項**

事務局 ・高崎市公民館研究集会について  
・前回審議会の会議録及び議事録について

#### **閉会**

事務局： それでは、これもちまして、平成29・30年度第2回高崎市公民館運営審議  
会を閉会いたします。ありがとうございました。